

光

一 小牧表に覺之淺神彈正右衛門尉
なる人ハ父ア新泉寺ハ舟で之のきこ
とらゆ中何方より舟光河邊來
あづと河邊に成上ハ舟をくを乗
之ハ上ハ新泉寺ハ敵方なるハは
河川に清むがみハ能くハ的合戦
敵方ハ知んたア新泉寺ハ清退ハ
事ハ子立ハ成すハ河邊に其
ハ心ハ要勝ハ仕金ハ成ハ分利ハ
河邊友ハ以後ハ河邊仕ハ事
一 とも美 秀吉云ハ中陣ハ二重城ハ
清江ハ二重城ハ川ハ万幸極ハ
清江ハ其ハ不ハ合不仕推量ハ
ハ不仕ハ遠一ハ其ハ大ハ其ハ
其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ
新泉寺敵方ハ河川ハ其ハ其ハ
兵庫城ハ其ハ其ハ其ハ其ハ
其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ

一 本林美佐五 三 敵機丹後 清江時ハ
其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ其ハ

一 本村英徳石 三枚横丹後・淡路・時ノ浦
白糸・英徳石・市・金・成・身・の・ま・し・い
け・方・て・い・黒・化・白・キ・す・ら・い・い・は・成・ゆ・也
皮・方・あ・い・白・化・思・キ・す・ら・い・い・は・成・ゆ・也
取・及・ヤ・山・事

一 関原以後 家康様より九月廿三日
而日付之治アかけ挿ハ由田中言々
より中來ハ定テ今ハけ地ニ新ト
三枚横之山・土・清・石・家康様九月
廿七日・大坂・市・級・成・ゆ・な・ハ・大・津・江
成・ゆ・石・四・し・事・ん・ゆ・は・ゆ・共・三・枚・横
・我・地・市・遠・ぬ・内・系・求・け・目・付・ゆ・か・ん
・か・ハ・は・ゆ・ハ・治・ア・か・大・津・ハ・系・ぬ・之・言
・な・去・大・坂・ハ・系・ハ・時・清・地・ハ・系・有・る・ハ・治・ア
・無・口・ハ・ハ・中・関・原・記・お・見・が・ゆ・三・枚・横・ハ
・地・ハ・ハ・系・ハ・治・ア・か・無・口・ハ・ハ・し・ゆ・中・ゆ・也
・大・坂・で・し・事・ハ・我・大・津・ハ・し・事・ハ・我・又
・ハ・の・関・原・記・ハ・大・津・ハ・系・ハ・し・去・ハ・大・津・
・家・康・様・清・石・ハ・時・三・枚・横・ハ・由・田・中・言・
・る・事・ハ・ゆ・か・ハ・成・ゆ・ゆ・是・ハ・九・月・廿・日・ハ・し・
・ハ・治・ア・ハ・い・ま・し・タ・事・ハ・我・ハ・い・く・の・治
・遠・路・中・ハ・又・大・津・ハ・三・枚・横・清・石・事・ハ・

八海家ハいづ、
又大は、三
海極清有書
右中通江守
石を名其れ
そこの事

松尾玄九月廿日白が、龜山、三砦様
 前田五郎右衛門大は、石成、越前、石成
 嶋、龜山、石成、越前、石成、越前、石成
 石成、越前、石成、越前、石成、越前、石成
 石成、越前、石成、越前、石成、越前、石成

之類、大は、市一宿、持明寺、女目、家康様

洗前、新成市、山王園、田中、小澤、

生播中
石金中
牙田五
石虫成
山

三秋攝八千里恍若一丘成之乃玄洞

中山後三祚橫市前以成法初

西から成り立ち只今も清く正しく

系由三根在右市家取

清寧九年五月八日午在洛京發

入山而後冬と申す元六ノ事と云

而說不與

卷之三

三教橫陳取法定於內傳而收氣

い内系合ふんやふと甘なわ口にや

中山の城下近川舟百より田邊
を里斗くおとす所なり山手横道
法對面は拖一面目は大坂へは成法城
別速河入城し湯院に上り秘教
成法城付大坂より吉野寺迄望
る放流一宿は拖明日八達仁寺荒
新成河在る文川橋法對面赤
秀林院横流さいごのそむ居り此
處云と承り元結法清進云と通
り上四日言や山表ノ又此時枝
者尤首四系川原外に建仁寺
より祖を法清に傳ふらん
法清和んそ表ハ中立賣坂本海客
下河一宿は成法晩に室川一宿
は拖明曉ハ福知山の成法是事
一國京にし捕四人言書あり内松地大膳
とあるは河者として法清言書あり河
松地大膳とヤ者いじ取不承及ゆ先以
合戦し内四人しは捕不審なる人交
首する人仕名四人は捕は成法成
法清言合戦終る命助といふ山
者ハ後事とし法清河に女子を

記し流所を合戦終る令助とてや
者へ多事とて流所へいふ子細
を捕へて合点ふ仕ゆ事

一 休之禰と後市中透へ福知山落城後
に事し流所を守とて木に守る
かと流所を守とて丹波下
丹波に増えたり又里福知山より
三里大江山より武里流所を守と
中城より流所を代中流所を守と
善左衛門右衛門の値中へそ年いふ事
吾輩一人は安人田色、新城仕ゆ事

一 休之禰、福知山落城以後守り流所
城の守り流所を代中流所を守と
比、霜月中旬にて流所を退る
市山、休之禰を代中下り切抜
一 流所を代中流所を代中下り切抜
一 中津より小倉へ流所を代中下り切抜
流所を代中流所を代中下り切抜
小倉より流所を代中下り切抜
又月より流所を代中下り切抜
山入仕ゆ事

一 同正月廿六日比中津より小倉へ流

山入仕の事

一 同正月廿七日比中津より小倉に渡
津が所をさしりしに成正月晦日市
るより市仕也と二月首に小倉津を
し成ゆと時福徳をさし也廣徳殿
津勢中一目より遠るに成し被徳を
市上海舟舟中私に二月十日比
大坂津着に成し攝り也

一 同三月初比 夜康公伏乞ふに案内
少し將軍成に成し事

一 同二月二日音に比市船が日月十五
六日比中津、津下着に成り同日時分
小倉に成り舟より上り津に被徳
終に役者下り来りし事

一 小倉に比着後同年霜月中旬市女九
二九三九篠崎とに成り地外に案
仕成りより市仕を被徳に成り
少るに仕し事

一 石垣市女九二九初市比市女九に分
法天に矢倉市表を津より方と
市仕事出り仕霜月ノ末に中津より
津梅新成り津家中に書き被徳

一石垣、市女丸、二丸、祠、山、清、女、丸、い、分、ハ
清、天、之、矢、倉、市、女、丸、表、子、清、う、方、と
市、女、丸、出、身、仕、霜、月、ノ、末、中、津、う、
清、極、山、成、山、清、家、中、ノ、事、子、孫、也、
小、年、内、引、越、サ、山、事

一秀吉、山、二、守、城、より、冬、了、新、泉、寺、山、退、
山、成、山、事、ハ、小、牧、表、市、動、山、時、業、名、也、
山、亡、幾、田、市、清、海、有、新、泉、寺、山、
山、死、山、城、山、成、山、大、山、市、極、山、成、山、
山、極、山、兵、庫、山、山、城、代、山、山、事、也、
二、守、城、より、山、事、山、山、退、山、山、山、山、
山、合、山、山、山、山、山、山、山、山、山、

十二月十五日

牧野寺

五

中井台



15
15579
21

光

一 小牧表に覺て淺神彈正右衛門尉
たる人ハ父ア新泉寺ハ丹七のきこ
とらゆ中何方より丹九河邊奥
あづと河邊に成るハ丹七と云ふ
之ハ上野新泉寺ハ歎ノ方ハハハ
市川清をまゐり能なりハ合戦
歎方ハ知せん父ア新泉寺清退ハ
市川子立ハ成りハ市川清をま
月心ハ悪勝ハ市川金一ハ成りハ
市川友ハ以後ハ市川清ハ市川
一主良 秀吉云市川清ハ二重城也



94-415

15579

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or document, written on aged paper.

21

特別
15579
21